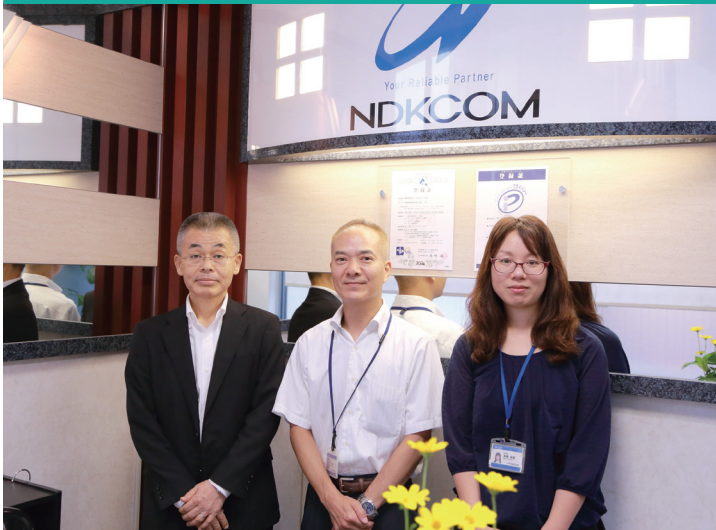




ワンユーザーから始められる
『PCAクラウド BPOプラン』なら、
企業の実情に合わせた導入ができる。
顧客数の増減に合わせて、
ライセンス数も変更可能

株式会社 NDKCOM

長崎の名所・眼鏡橋の近くに本社を構える株式会社NDKCOM。民間企業から地方公共団体まで幅広い顧客を持ち、システム開発やオリジナルのアプリケーションパッケージ販売など、経営者や行政担当者の視点に立った的確なビジネスソリューションサービスを提供している。同社では長年PCA製品が利用されてきたが、『PCAクラウド BPOプラン』の導入によって、新たなサービスの提供にも成功している。企業の実情に沿って、フレキシブルに導入できる『PCAクラウド』のメリットを伺った。

導入システム

○PCA クラウド BPO プラン (1GB モデル 5CAL) ※1

・PCA 給与 9V.2R7 for SaaS

○PCA クラウド イニシャル'0'プラン (Type6 3CAL)

・PCA 商魂 X クラウド

※1:【BPOプラン】会計事務所・社会保険労務士事務所・アウトソーシング向けプラン

導入の狙い

- ・ベテラン社員の退職によりノウハウが喪失。給与計算サービスの質の低下を防ぎたい。また、今後のマイナンバー制度や、頻繁な法改正・制度改正にスムーズに対応したい。
- ・サーバー購入が不要で、初期費用を抑えたネットワーク環境の構築。
- ・長崎は台風や水害などの災害リスクが高く、過去には本社付近のビルも2m近い浸水被害に遭っており、確実な対策が必要。

導入効果

- ・『PCA給与』なら自社開発ソフトを代替できるほど多機能で、クラウド利用も可能。マイナンバー制度をはじめ改正対応にも安心。また、パッケージソフトなら自社開発のノウハウを継承不要で、給与計算業務のノウハウもPCAのサポートセンターのアドバイスを活用して維持可能。
- ・『PCAクラウド』のBPOプランならワンユーザーから始められ、ソフトの多機能はそのままコストを大幅カット。顧客が増えれば拡大することも可能。“小さく始めて大きくできる”料金システムは、地方都市企業にとって最大のメリット。
- ・「バックアップ機能」「サーバーレス」「ローカル運用可能」などのサービスで、安全・安心のBCP対策を実現。

プロフィール

株式会社 NDKCOM

□所在地:

(本社) 〒850-0875 長崎県長崎市栄町5番11号

(FMビル事務所) 〒850-0875 長崎市栄町5番5号 FM長崎ビル3階

(電腦ビル事務所) 〒850-0037 長崎市金屋町2番6号 電腦ビル5階

□設立: 昭和41年7月1日

□資本金: 3,300万円

□従業員: 105名

□業務内容:

地方自治体向けサービス/ SIサービス/ 教育関連ソフト開発/ 制御・組込みソフト設計開発/ アウトソーシングサービス

□経営理念:

IT(情報処理技術)と豊かな発想でお客様と共に成長します。ITのプロフェッショナル企業として社員のスキルの向上に努め、お客様の立場で考え、お客様の利益に貢献します。

□URL: <http://www.ndkcom.co.jp/>



本社ビル外観

※2012年10月に、『PCA for SaaS』から『PCAクラウド』へ名称を変更いたしました。



株式会社 NDKCOM
アウトソーシング部 部長
草間 智之 氏



株式会社 NDKCOM
アウトソーシング部
BPOサービス課 課長
田口 馬次 氏

導入前の運用と課題

○長年提供してきた給与計算サービス。その移行先としてクオリティを維持できるソフトとは？

創業して約50年近い歴史を持つ株式会社NDKCOM。現在はSI企業として、地方公共団体や民間企業のシステム開発・ソフトウェア開発を手掛けているが、その歴史は長崎電子計算センター株式会社としての電算処理から始まった。昭和40年代から電算処理を受託している企業にとって、柱の1つとなるのが給与計算処理だ。同社でも給与計算処理を受託しており、自社開発ソフトによってこのサービスを提供してきた。しかし自社ソフトでのサービス提供に徐々に限界を感じだしたと、アウトソーシング部 部長 草間智之氏は当時を振り返る。

「自社開発ソフトの中身を熟知するベテラン社員たちが退職していき、ノウハウが失われサービスの質を低下させる心配がありました。さらに給与は法改正が頻繁で、そのたびに自社ソフトを直していかなければなりません。加えて平成28年1月からはマイナンバー制度も始まり、その対応も課題でした」(草間氏)

①給与計算サービスの質の低下を防ぐ。②頻繁な法改正に対応できる。③マイナンバー制度へも対応できるという点から、パッケージソフトウェアが便利だと考え、その中でも多機能を備え、クラウドによって利用できる給与ソフトという点で選ばれたのが『PCA給与』だった。

選定のポイント

○回線トラブル時でもローカル運用ができ、明瞭で導入しやすい料金システム

『PCA給与9V.2R7 for SaaS』の導入において、決め手になった2つのポイントがあるという。それは「万が一の回線トラブル時にローカル運用ができる」と「明瞭でわかりやすい料金システム」だ。

『PCAクラウド』では緊急時対応スタンダード版が標準添付されており、仮にインターネット回線が不通になったとしても、給与明細書の出力など遅延の許されない処理を引き続き行うことができる。

「特に給与関係ですからサービスをストップさせるようなことはあってはなりません。『PCAクラウド』ならローカル運用ができ、かつバックアップ機能も付いており安心です」(草間氏)

また「明瞭でわかりやすい料金システム」については、初期費用が不要＝0円のため、負担をなるべく抑えて導入したいという同社の要望に応えるものであった。

「もしサーバーを新しく購入し直して、自社ソフトのままとなると、費用もかなりの金額になってしまいます。しかし『PCAクラウド』なら、当社の選んだプランの場合は初期費用が0円で月額利用料を支払うのみ。じつは他社のクラウドサービスとも比較をしたのですが、『ローカル運用ができる』『明瞭で導入しやすい料金システム』という点で、PCAを選びました」(草間氏)

導入後の効果

○PCAサポートセンターのアドバイスを、自社の顧客サービスにも活用

現在、同社では複数社の顧客を『PCAクラウドBPOプラン』にて管理し、『PCA給与』による確実に迅速な給与処理を行っている。利用者の業種はさまざまで、『PCA給与』が多様な業種に応用できる実感はあるという。また以前は自社ソフト

を使用していた同社にとって、PCA製品の導入によりサポートセンターを利用できるようになったことで、次のようなメリットも生まれたという。

「PCAのサポートセンターが充実していることで、私たちにも新たなメリットが生まれました。それは、以前なら自社ソフトに特化した特別なスキルが必要だったのに比べ、現在はサポートセンターからアドバイスをもらうことで、当社の社員ならだれでも顧客に対して指導ができるようになることです。副次的ではありますが、人材の育成コストについてもある程度の効果はあると思います」(草間氏)

サポートセンターのアドバイスについて、アウトソーシング部 BPOサービス課課長 田口馬次氏も高く評価している。

「頻繁にサポートセンターを利用していますが、回答の内容はとてもわかりやすくしっかりしています。繁忙期なども折り返し電話をすぐにかけてくれます。同じ画面を見ながら的確に指示してもらえるので助かっていますね」(田口氏)

問い合わせの回数制限はなく何度でも利用できる。リモートコントロールでのサポートも行っており、夜間にメールで質問したい内容を送信しておく、翌日サポー

トセンターからその対応を行うサービスも実施している。

○30年近い年月をかけ、ユーザーの声を反映させてきたPCAソフト

『PCA給与9V.2R7』の機能について、田口氏は「マスターナビゲータ機能」の便利さを挙げる。マスターナビゲータ機能とは、昇給や住民税の変更などを一括して表示・確認・変更できる機能で、社員の一部など限定した変更も可能だ。

「マスターナビゲータ機能を使えば、一人ひとりの個人画面を修正していく手間を省き、一括して変更できます。そしてその変更内容がすぐに更新・反映できます」(田口氏)

他にも「銀行情報の設定」で銀行によって異なる振込手数料の設定や給与振込依頼書の作成もきれいにでき、正確な振込業務を行うことができると評価している。

同社では『PCA商魂』も長年利用されてきた。現在『PCA商魂X』の入力を担当している経営管理部 総務経理課 真崎香織氏は「初めて『PCA商魂X』に触ったときから、特に難しいと感じることなく利用できた」と語る。例えば、よく使われる機能

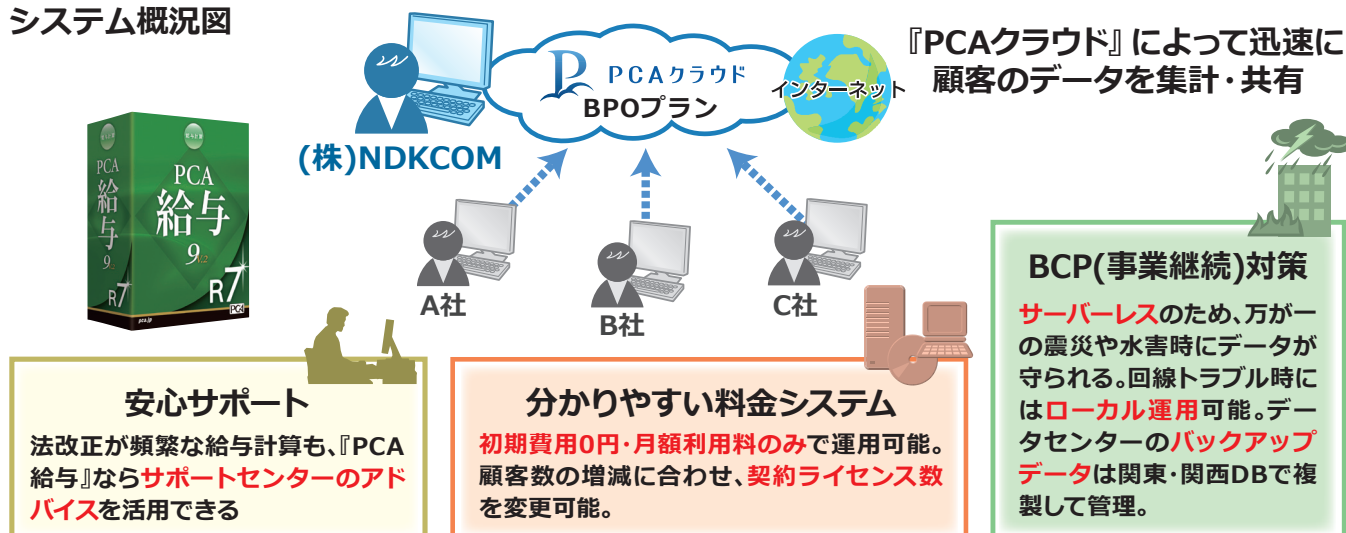


取材風景



株式会社 NDKCOM
経営管理部 総務経理課
真崎 香織 氏

システム概況図





(株)NDKCOMの本社近くにある、長崎の名所「眼鏡橋」は、中島川に架かる美しい石造二連アーチ橋。

※2)『快決！シフト君』は、(株)NTTデータセキュリティシステムズの製品です。



株式会社 NDKCOM HP
<http://www.ndkcom.co.jp/>

の1つに「入金消込」がある。請求単位・伝票単位・明細単位から消込対象を選ぶことができ、入金状況に合わせて簡単に消込ができる。未入金の管理も可能だ。非常に便利な機能が増えている『PCA商魂X』について、草間氏は次のように評価している。

「販売管理ソフトの経験がない人でも、最初からすんなりと利用できるということは、それだけ工夫されたソフトなのだと思います。初のバージョンが販売されてから30年近い年月が経っており、利用者の声が反映されてきたのだと考えています」(草間氏)

現在は総務経理課で伝票入力を行っているが、今後は『PCAクラウド』の特性を活かし、各部署での入力や、売上実績の迅速な共有を計画しているそうだ。

○『PCAクラウド』なら「小さく始めて大きくできる！」

株式会社NDKCOMが『PCAクラウド』を選んだ理由には、BCP(事業継続計画)対策としての考えもあった。長崎は震災だけでなく台風や水害などのリスクにも注意が必要だ。20年前にはすぐ近くの眼鏡橋が流され、本社付近のビルも2m近い浸水被害に遭っている。だからこそ「バックアップ機能」「サーバーレスの安心感」「ローカル運用が可能」にはこだわったという。

「幸いなことに、3年前の『PCAクラウド』導入時から、たった1度もローカル運用をしたことはありません。安定して利用できています」(草間氏)

とはいえ、ローカル運用ができるという安心感は大きい。『PCAクラウド』は「ロ

ーカル運用で業務継続ができる唯一のクラウドサービス」だ。万が一インターネット回線が不通になっても業務が中断することはない。また、ローカル上にもバックアップが取れるという点も安心だ。草間氏は『PCAクラウド』の「ユーザーライセンス数をいつでも増減できる」点も、高く評価している。

「今までのような自社システムでは、費用面で小さく始めることが難しかったです。しかし『PCAクラウド』なら、ワンユーザーから始められ、お客様が増えればそれに合わせて拡大できます。私どものような規模の会社には導入のハードルが低く、とても利用しやすいです」(草間氏)

今後の展望と課題

実際に『PCA給与』の導入指導を行っている田口氏は「BPOプラン用に、顧客へ指導する人向けのマニュアルが欲しい」と語る。また、草間氏は『快決！シフト君』※2などクラウドで利用できるソフトの範囲を広げてほしいと語る。

株式会社NDKCOMは「投資額の最小化」と「効果の最大化」を第一義にしたソリューションサービスが高く評価されており、クライアントの業種もじつに幅広い。しかし地方都市の多くの企業が抱えている顧客数の減少という問題は、同社でも課題となっている。「だからこそ『PCAクラウド』の“小さく始めて大きくできる”という料金システムは、地方都市の企業にとって最大のメリットだと考えています」(草間氏)

ピー・シー・エー株式会社

pca.jp

Since 1980.8.1

本社 〒102-8171 東京都千代田区富士見1-2-21 PCAビル TEL.03(5211)2700 FAX.03(5211)2740

※Access®はMicrosoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

※Excel®はMicrosoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

※会社名と製品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

※記載内容は取材当時の情報を元に作成しております。現在とは内容が異なる場合がございますのでご了承ください。

2015.05.01